

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は過去最高に並ぶ葬儀件数である。また、墓じまいや墓の建立、永代供養墓の利用や相談、見学など、とにかく忙しいひと月である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・季節が良くなってきたので客の動きも良くなっている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比での来客数は、1月が99%、2月は100%、売上が1月105%、2月110%であった。11～12月は来客数95%であったので、客数は戻ってきたとみている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ようやく暖かくなってきたからなのか、街に人が出てきて商店街にも活気が出ている。春物準備で来店する客もぼちぼちと出始めている。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、宴会共に好調で来客数は増えている。ただし、客単価は低いままである。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・冬季期間は県外客の入込が少なく、地元の需要に頼っている。しかし、近年のライフスタイルの変化により、忘新年会、同級会、親族会、隣組の常会、戦友会、無尽といった集まりが減っている。
		ゴルフ場（経営者）	販売量の動き	・会員制のゴルフクラブであるが、今年は前年に比べて入会希望者が非常に多くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新入生の注文が前年と同じくらいあり、今年は大変助かっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客は必要な物への出費だけで、売手の施策には乗ってこない。相変わらず商品の動きは良くない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候は安定してきたものの、来客数は減少している。青果相場も前年並みの単価に戻ってきている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・来客数の回復状況が悪く、買上単価も伸びていないため、総じて売上は増えていない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・この数が月間、前年比で来客数が9割程度となっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の受注状況は安定しており堅調である。新型車効果も持続している。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・車検、一般整備、新車、中古車販売共に、前月を上回っている。ただし、デフレの状況はまだ続いており、以前のように利益を確保することは難しい。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・過去数年で、最低の売上である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・例年にない大雪から天候が安定したため、大幅なマイナスとならなかったが、低調な推移から改善しただけで、好転しているとは言いがたい。予約状況、フリー客の利用は依然として改善できていない。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・天候も落ち着き、大型イベントも終了したためか、客の動向が通常に戻りつつある。少しずつ来店客が増加し始め、春休み等の国内や海外旅行の受注も増えている。現状ではインターネットで申し込む客も多いため、春に向けて、動きは出てきている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・節約志向なのか、高齢者世帯の保留や解約が増えつつある。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・カットの低料金店舗がじわじわと増加しているため、競争に負けないように美容院の単価を下げている。客の満足度を上げないと勝てない。今月後半以降の気温上昇で、来客が活発になっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・相変わらず新規の依頼もあり、忙しい状態が続いている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・春もたけなわ、年度替わりの時期で多少は盛り上がりを取り期待するが、そうした雰囲気は全くない。本来なら買換え時期になっている物も、来街者が少なく、売行きが悪い。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・月前半は気候変動が激しく客が少なかったが、後半の春休みに入って人出は増えてきている。ただし、財布のひもは固く、売上になかなか結び付いていない。	
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・競合店も含め、チラシ広告の回数が増えている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きも現状維持が精一杯である。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・送別会シーズンの宴会が余り多くない。フリーの客は入ってきているが、二次会の団体客はあまり多くなく、この時期としては街中が静かである。	

		スナック（経営者）	お客様の様子	・「客の様子」と回答したが、空きビルができると入るのは飲食店ばかりであり、大手にはとてもかなわないので、競争相手の様子も気になる。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・例年3月以降は宿泊客の予約が増加するところ、今年は低迷している。宿泊実績、予約状況共に非常に悪い。
		タクシー運転手	販売量の動き	・動きが良いのは朝だけで、医者や病院通いで利用である。昼間になると動きが悪く、夜も動くのは休みの前の日くらいである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・イベントなど集客施策を実施したが、積雪の影響も大きく、3か月前よりやや悪くなっている。
	x	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は前月末に開店した同業他店の影響が思ったよりも大きく、少し厳しい状況となっている。
企業 動向 関連		-	-	-
(甲信越)		食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・3月は降雪の日があったものの、全般的に温暖な天候が続いたために工場見学者が増加し、売上額も前年以上に増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来からの案件が徐々に決まり、部品もようやく入荷し始めている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・寒さも和らぎ住環境に関心に移り、民間工事が増えている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・個人消費の弱さがみられるものの、製造業を中心に景況感の改善が続いている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連の宿泊施設は、外国人観光客が団体から個人に変わり、1部屋当たりの売上が減少している。減少分を客単価の引上げにより対応しているが、売上は増加にまでは転じていない。製造業関連は、人手不足等を背景に工作機械需要の拡大を受け、受注、生産が上向いている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比90.9%で、多く出稿される曜日の数からしても前年を上回るとみていたが外れている。急に暑い日が続く、春物の購入を飛び越してしまったのかと話す店主もいる。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は繁忙期だったこともあるものの、売上が計画どころか、前年の数字すらなかなか達成できていない状況である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に、激減している。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・土日、祝日の天候不順が響いて、週末催事の集客が思うようにいかず、売上ダウンとなっている。小売店の売上も相変わらず低調で、卸売の出張に行っても、採算が合わない状態が続いている。
	x	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・同じ地域で飲食関係や、スーパー、卸問屋などが、この3年くらいで10軒ほどなくなり、売上の伸びる要素が見当たらない。
雇用 関連		-	-	-
		*	*	*
(甲信越)		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・求職者、求人企業共に、条件に変更がないためか、マッチングが難しい様子である。人がいないというものの、双方が条件等を変えないので、状況は変わらない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・地元の大企業、中企業で2019年度新卒者向けの説明会を積極的に行っている。中途採用については、最近、製造業、建設業の求人広告が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業の拠点拡大や技能者不足、1～2月の降雪による建物や設備修繕に係る工事需要の増加、飲食業やサービス業での休日、就業時間の改善、医療福祉業での新規開設等の要因により、求人数は全体で前年比10%増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が3か月連続同水準であるため、変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・零細企業の求人が増加傾向にあるものの、応募者が少なく充足できない状況が続いている。
		-	-	-
	x	-	-	-